

まちづくり交付金 事後評価シート

なばりちく
名張地区

平成21年3月

三重県名張市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県	市町村名	名張市	地区名	名張地区		面積	190ha
交付期間	H.16～H.20	事後評価実施時期	平成20年9月	交付対象事業費	210	国費率	0.4	

1) 事業の実施状況	当計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	既存建造物活用事業(江戸川乱歩等記念館 (仮称)初瀬ものがたり交流館)						
		提案事業	地域創造支援事業(歴史・文化修景事業) まちづくり活動推進事業(TDM・道路交通規制等の社会実験 歩行者ネットワーク等社会実験) まちづくり活動推進事業(名張まちづくり塾の開催(まちなか再生執行管理))					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(水と緑のネットワーク整備)	削除/追加の理由			削除/追加による目標・指標・数値目標への影響	
提案事業		地域創造支援事業(まちかど博物館ネットワーク) 地域創造支援事業(いきいきサロン整備)	地域まちづくり組織の自発的・持続的な活動が望まれるため、 他部署の所管となって実施されることとなったため(関連事業への移行)。			「広場・公園の整備に関する満足度」の指標に関係するが、地区内の他の箇所でも広場整備の計画もあるため、指標及び数値目標は据え置いた。 影響なし。 影響なし。		
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(公共サイン整備)	まちなか散策の回遊性を高める有効な案内板・誘導板を整備するため。			歩行空間の回遊性・快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置いた。		
		高質空間形成施設(水と緑のネットワーク整備等)	一つの地区で集中化させ、拠点的な整備を行うこととなったため(地域生活基盤施設 高質空間形成施設)。			歩行空間の回遊性・快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置いた。		
	提案事業	地域創造支援事業(乱歩記念広場)	江戸川乱歩に縁のある地(生誕地碑建立地)の寄贈を受け、来訪者への生誕地碑を紹介する場として有効活用し、必要な空間整備を行うこととなったため。			地域資源の活用及び生活空間の魅力向上に関連するが、指標及び数値目標は据え置いた。		
交付期間の変更	当初							
	変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	従前値	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	街並みの美しさに関する満足度	%	20%	H.15	60%	H.20	なし	33%		あり なし	ファサード整備等の支援計画の取り止めや評価時点での事業未完了等による影響。	H.21.5
指標2	歩行者等の道路通行の安全性に関する満足度	%	18%	H.15	60%	H.20	なし	19%	x	あり なし	評価時点での事業未完了等による影響。	H.21.5
指標3	伝統・文化遺産等の保護、活用に関する満足度	%	25%	H.15	60%	H.20	なし	45%		あり なし	改修整備した既存建造物を活用した事業や現存する地域資源等のPR不足。	H.21.5
指標4	広場・公園の整備に関する満足度	%	30%	H.15	60%	H.20	なし	23%	x	あり なし	当初計画の広場・公園整備の取り止めや評価時点での事業未完了等による影響。	H.21.5
指標5	商業・サービス業の振興、整備に関する満足度	%	16%	H.15	60%	H.20	なし	15%	x	あり なし	既存建造物が賑わい創出に寄与し始めているが、評価時点での結果が表れていない。	H.21.5

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	従前値	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	事業地区内の有形登録文化財(建造物)の登録件数	件	0	H.16			なし	7			歴史的建造物が保護される傾向にあり、登録数が増えている。	H.21.5
その他の数値指標2	既存建造物(名張市旧細川邸やなせ宿)来館者数	人/年	-	-			なし	12,000			まちなかへの来訪者が増え、賑わいの創出効果が見受けられるようになっている。	H.21.6
その他の数値指標3												

4) 定性的な効果発現状況
 多様な主体(市民・事業者・行政など)の協働による、まちづくり体制の構築に着手することができた。
 事業対象地区内の住民協議会組織が主体となり、歩行空間の安全性・快適性を確認するためのフィールドワークの実施や既設ポケットパーク・空き地を活用した新たな取組み(花いっぱい運動・老朽化ベンチの修繕活動など)が始められたり、年に数回、市内内外の住民をおもてなしするイベントが定期的に開催されることとなった。
 事業対象地区内の住民協議会組織・大学・市と連携し、研究・教育・学生課外活動支援をテーマとした「まちなか研究室事務局」が設置(平成18年8月)された。また、地区内集議所(榎町)を活用し、「まちなか研究室本室」として大学のゼミも実施されるようになり、事業対象地区が学生たちの研究活動のフィールドとなり始めている。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
住民参加プロセス	「名張まちなか再生委員会(役員会・プロジェクト会議・専門部会等)」の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	設立された当該組織との協働により、引き続き、今後のまちづくりの方針の推進等に努める。
持続的なまちづくり体制の構築	「名張まちなか再生委員会」の設立		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	関係者との検討・協議等を踏まえ、設立された当該組織が継続的に体制維持できるように努める。

様式2 - 2 地区の概要

名張地区(三重県名張市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
名張の原風景と人情が息づく魅力ある中心市街地の創造	街並みの美しさに関する満足度	単位: %	20%	H.15	60%	H.20	33%	H.20
	歩行者等の道路通行の安全性に関する満足度	単位: %	18%	H.15	60%	H.20	19%	H.20
	伝統・文化遺産等の保護、活用に関する満足度	単位: %	25%	H.15	60%	H.20	45%	H.20
	広場・公園の整備に関する満足度	単位: %	30%	H.15	60%	H.20	23%	H.20
	商業・サービス業の振興、整備に関する満足度	単位: %	16%	H.15	60%	H.20	15%	H.20

基幹事業: 既存建造物活用事業(名張市旧細川邸やなせ宿)

基幹事業: 高質空間形成施設(太鼓門散策道整備)

基幹事業: 高質空間形成施設(名張駅西口公衆トイレ整備)

基幹事業: 高質空間形成施設(城下川沿い道路修景整備)

基幹事業: 地域生活基盤施設(公共サイン(まちなか案内板・誘導板)整備)

提案事業: 地域創造支援事業(乱歩生誕地碑広場整備)

提案事業: 地域創造支援事業(歴史・文化修景事業-まちなか資源調査-)

都市再生整備計画区

まちの課題の変化

既成市街地のもつ陣屋町としての都市構造を、現在の都市空間と照らし合わせて紹介するなど、公共サイン(まちなか案内板・誘導板)を設置することにより、来訪者の散策の回遊性・快適性の向上を図ることができた。
 ・老朽化する町家を改修した「名張市旧細川邸やなせ宿」を、まち並み保全の規範及びまちなか再生の拠点施設として供用開始し、事業対象地区への来訪者が増大した。
 ・地区内の住民協議会組織・大学・市が連携し、福祉面での研究・教育・学生課外活動支援をテーマとした交流、事業の推進が始められるようになった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・関係組織(観光協会等)との連携により、まちなかの歴史・文化・自然などの様々な地域資源や設置された公共サイン(まちなか案内板・誘導板)の継続的な情報発信活動に取り組む。
 ・コミュニティビジネスや交流イベント等の開催など魅力ある事業展開が継続されるよう「名張市旧細川邸やなせ宿」の管理運営における民間活力の活用。
 ・まちなか散策の快適性に繋がるポイント(トイレ・小さな休憩箇所など)の発掘等に取り組む。
 ・歩行者の安心・安全に繋がるよう通過車両・路上駐車等の減少が図れるような取組みについて、関係者と検討・協議していく。
 ・既存及び当該事業により整備したアメニティ施設(公園・広場・ポケット広場等)のPR及び活用促進に取り組む。
 ・自動車利用者向けの駐車場情報の提供や駐車場施設を有する地区内の大型商業店舗との連携。